

マイボトル 始めませんか？

毎日の飲み物を使い捨て容器から
マイボトルに変えると、年間で削減
できるCO₂体積は、



500mlペットボトル
× **39,000** 本分
にも及びます！

1回使用あたりのCO₂排出量(g-CO₂) *500ml 容器で比較

ペットボトル*1	アルミ製水筒*2	ステンレス製水筒*2
119g	10.7g	13.9g

*1:1回使用して廃棄・リサイクル、*2:100回使用して廃棄

瀬戸内の、豊かな海は



マイボトルを始めよう！



坂出市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Zero carbon city
sakaide

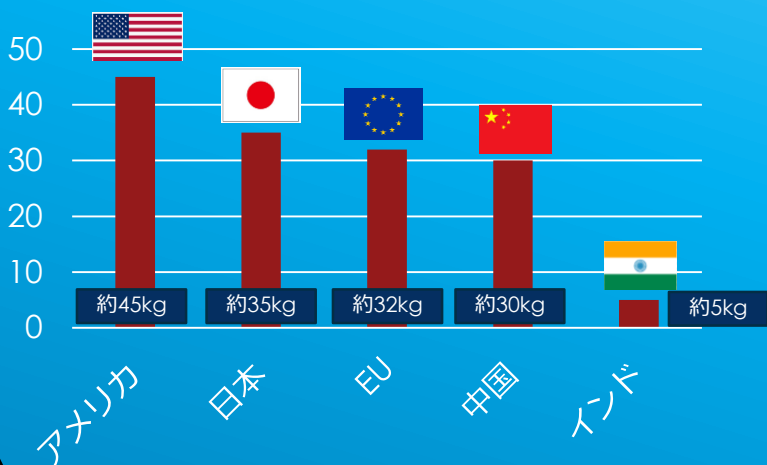
みんなできり組む プラスチックスマート

本市では「坂出市庁内プラスチックスマートアクション方針」を策定し、市（市が事務局事務を担う団体等）主催の会議等における出席者のみなさまへのペットボトル入り飲料の提供を廃止することといたしました。つきましては、本趣旨をご理解いただき、飲料が必要な方におかれましては、マイボトルを各自でお持ちいただくなど、ご協力をお願いいたします。

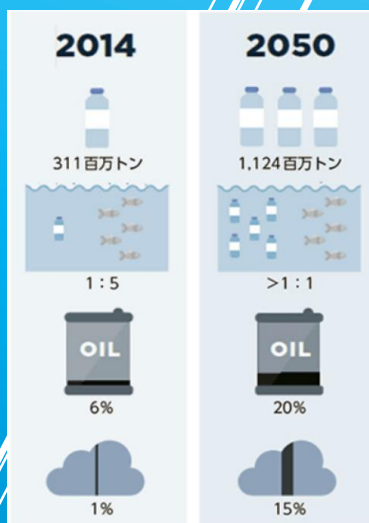


ペットボトルやレジ袋など、私たちの生活にはプラスチック製品があふれています。日本は1日当たりの使い捨てプラスチックごみ量が、米国に次ぐ世界第2位の多さです。

そして、製造して使用した後、適切に処分されなかったために海に流れ出てしまった、プラスチック製のごみである海洋プラスチックごみは、2050年には海の魚の量を上回るとともに、消費する原油の20%がプラスチック生産に使用されると予測されています。



国民ひとりが1年で捨てる容器包装プラスチック
引用：UNEPの報告書(2018年)より作成



引用：THE NEW PLASTICS ECONOMY
「RETHINKING THE FUTURE OF PLASTICS」

本市が誇る雄大な瀬戸大橋と優美な多島美が存する瀬戸内海は、周りが陸に囲まれているため外洋との海水の循環がされにくい海域（閉鎖性海域）となっています。

このため、瀬戸内海周辺に住む私たちの生活ごみなどが多く流れ着き、これらは海洋生物の生態系等に今後、甚大な被害をもたらすことも考えられ、日々のごみの減量化や環境問題について地域の一人一人が真剣に考えていく必要があります。

地球のことを「ちょっと」考えることが
子どもたちの未来につながります

